

## 2023年度武蔵野大学認知行動療法研究所活動報告

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 武蔵野大学認知行動療法研究所 公開日: 2024-11-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://mu.repo.nii.ac.jp/records/2000446">https://mu.repo.nii.ac.jp/records/2000446</a>

■ 活動報告

## 2023 年度武蔵野大学認知行動療法研究所活動報告

---

### 1. 研究所の目的と事業

武蔵野大学認知行動療法研究所は、武蔵野大学のブランドステートメントである「世界の幸せをカタチにする。」を臨床心理学の分野で探究し実現するため、認知行動療法に関する以下の活動を行うことを目的としている。

- 1.1 認知行動療法を中心とした高度な臨床及び研究
- 1.2 本学大学院博士後期課程及び臨床資格を持つ専門家のための教育
- 1.3 その他上記の目的を達成するために必要と認められる事業

### 2. 研究所の組織

所長：中島聡美 (教授)

主任：小西聖子 (教授)

研究員：泉明宏 (教授)、菊池安希子 (教授)、小西聖子 (教授)、今野理恵子 (講師)、佐々木洋平 (助教)、城月健太郎 (教授)、辻恵介 (教授)、出野美那子 (准教授)、中島聡美 (教授)、成澤知美 (助教)、福沢愛 (講師)、矢澤美香子 (教授) 50 音順

客員研究員：21 名 (2023 年 12 月現在)

### 3. 活動報告

#### 3.1 臨床活動

主な認知行動療法プログラムとして、PTSD の認知行動療法である持続エクスポージャー療法 (Prolonged Exposure Therapy)、認知処理療法 (Cognitive Processing Therapy)、その他、EMDR (Eye Movement Desensitization and Reprocessing)、遷延性悲嘆治療 (Prolonged Grief Treatment) を実施している。

#### 3.2 研究活動

「遷延性悲嘆症の心理療法の有効性の検証および病態解明に関する研究」(令和 5 年度科学研究費助成事業基盤研究 (B) 研究代表者 中島聡美)、「性暴力被害者への継続的支援 (2) - PTSD の遠隔心理療法および被害時行動の研究」(令和 5 年度科学研究費助成事業基盤研究 (B) 研究代表者 小西聖子)、「性暴力被害者の早期介入としての支援版プログラムの構築と検証」(令和 5 年度科学研究費助成事業若手研究・研究代表者 今野理恵子) および、「トラウマ関連障害への認知処理療法の有効性及び作用機序の検証と適用拡大」(令和 5 年度科学研究費助成事業基盤研究 (B) 研

究代表者堀越勝、分担研究者中島聡美)を実施した。

### 3.3 研修・講演活動

講演活動として Meet the Expert を企画し、2023年9月22日(金)に城月健太郎教授(武蔵野大学)「日本とオーストラリアの子育てと文化比較」を開催した。

研修として、2023年8月8日(火)～8月12日(土)に、ペンシルバニア大学 CTSA(不安障害治療研究センター)から、Jeremy Tyler 准教授を迎えて、PE コンサルタントワークショップを開催した。

### 3.4. 出版活動

武蔵野大学認知行動療法研究誌第5号の創刊予定(2024年2月)

### 3.5. 運営委員会

毎月運営委員会が行われた。